

躍進する (第785回)
女性陣

ダイセー倉庫運輸(吉田憲三社長、愛知県小牧市)のJ・L・C事業本部に勤務する渡邊真由さ

んは、昨年4月に同社初の女性総合職として入社した、若手ホープの一人だ。

大学のゼミで貿易や物流の仕組みを学んだ渡邊さんは、就職先も物流業界を志望。樹齢・ポリマー



吉田社長と渡邊さん(左)

ダイセー倉庫運輸

一日の終わりに達成感

に特化する同社の手堅さが入社の決め手になったという。最初の半年は、同期の男性社員と同様にドライバーとしてハイエースに乗り、現場を学んだ。

黙々と経験を積み渡邊さんに、吉田社長ほか幹部は「表には出さないが、自分の縦軸をしっかり持っている」との印象を受けたようだ。

初の配属先は、全国のトラックと荷物をマッチングさせる同社の求貨・求車システム「DXコネクト便」の配車担当。関東と中部の中継地点として重要な位置にある静岡エリアを任されている。

「不安に思うこともあるが、一日を無事終えた時には達成感がある」と笑顔をみせ、相談しやすい

ベテランの先輩たちにも頼もしさを感じている渡邊さん。一番に大切に行っているのは関係先とのコミュニケーションで、ネットワークと守備範囲を広げるために、電話応対スキルにも磨きをかけている。

「経験を積みば人間性も磨かれると思う。いろいろな経験をした」という渡邊さんのやる気の源は、「小さなことでもボジティブに考えられるよう意識して、とにかくやってみる」。そんな彼女に吉田社長は、「ローマは一日にして成らずだが、その道のプロになって仕事と人生をリンクさせてほしい。期待しかない」と将来を見据えたエールを送っている。

(吉田 香)